

電気電子工学科課程表（2023 年度入学者より適用）

●－原則としてその学期で開講。
 ※開講学年前期後期欄 ○○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分			科 目 名	開 講 期	開講学年												資格 必修		備 考		
					1年			2年			3年			4年			資格	必修			
					前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
						◎印－必修科目 } ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）															
教 養 教 育 科 目	T G ベ ー シ ャ 的 基 礎	人 間 的 基 礎	聖書を学ぶ	半期	●		2										◎	◇電気電子工学科を卒業し、学士号を得るためには124単位以上を修得しなければならない。			
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2									◎					
			キリスト教学A(キリスト教と倫理)	半期							2					} ◎					
			キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期							2										
			キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期							2										
			キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期							2										
		共生社会と倫理	半期				○	○	2						} ◎						
		科学技術社会と倫理	半期				○	○	2												
		よき社会生活のためにA（法律）	半期	○	○	2									} ◎						
		よき社会生活のためにB（福祉）	半期	○	○	2															
		よき社会生活のためにC（健康）	半期	○	○	2															
		知 的 基 礎	リーディング&ライティング	半期	○	○	2									} ◎					
			クリティカル・シンキング	半期	○	○	2														
			情報リテラシー	半期	○		2								◆必	◎					
			統計的思考の基礎	半期	○	○	2									} ◎					
			科学的思考の基礎	半期	○	○	2														
			課 題 探 究	キャリア形成の探究	半期	○	○	2									} ◎				
		東北学院史の探究		半期							○	○	2								
	データ活用による探究	半期					○	○	2												
	地域ボランティア活動の探究	半期		○	○	2															
	地域課題の探究	半期					○	○	2												
	課題探究演習	半期			○	2															
	共 通 教 養 科 目	人 文 系	哲学	半期	○	○	2									} ◎	4単位選択必修				
			芸術論	半期	○	○	2														
			文化の歴史	半期	○	○	2														
			音楽	半期	○	○	2														
			倫理学	半期	○	○	2														
			文学	半期	○	○	2														
			歴史学	半期	○	○	2														
			文化人類学	半期	○	○	2														
			言語論	半期	○	○	2														
		社 会 系	心理学	半期	○	○	2									} ◎	4単位選択必修				
社会学			半期	○	○	2															
経営学			半期	○	○	2															
経済学			半期	○	○	2															
法学			半期	○	○	2															
日本国憲法			半期	○	○	2								◆必							
現代の政治			半期	○	○	2															
地理学			半期	○	○	2															
社会福祉論			半期	○	○	2															
ジェンダー論			半期	○	○	2															
東北地域論			半期	○	○	2															
自 然 系		数理の科学	半期	○	○	2									} ◎	4単位選択必修					
		記号論理学	半期	○	○	2															
		生命の科学	半期	○	○	2															
		環境の科学	半期	○	○	2															
		自然の科学	半期	○	○	2															
		先端科学と技術	半期	○	○	2															
		A I 社会の基礎	半期	○	○	2															
外 国 語 科 目	第 1 類	英語ⅠA	半期	●		1									◎						
		英語ⅠB	半期		●	1									◎						
		英語ⅡA	半期				●		1						◎						
		英語ⅡB	半期					●	1						◎						

●一原則としてその学期で開講。
○○一原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄一開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開講学年												資格	必修	備 考
				1年			2年			3年			4年					
				前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
																◎印－必修科目 ○印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）		
外国語科目	第2類	ドイツ語ⅠA	半期	●		2										週2回開講科目 ※Bの選択にあたってはAと同一の外国語を履修すること		
		フランス語ⅠA	半期	●		2												
		中国語ⅠA	半期	●		2												
		韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2												
		ドイツ語ⅠB	半期		●	2												
		フランス語ⅠB	半期		●	2												
		中国語ⅠB	半期		●	2												
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2												
		ドイツ語ⅡA	半期				●		1									
		フランス語ⅡA	半期				●		1									
		中国語ⅡA	半期				●		1									
		韓国・朝鮮語ⅡA	半期				●		1									
		ドイツ語コミュニケーションA	半期				●		1									
		フランス語コミュニケーションA	半期				●		1									
		中国語コミュニケーションA	半期				●		1									
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	半期				●		1									
		ドイツ語ⅡB	半期					●		1								
		フランス語ⅡB	半期					●		1								
		中国語ⅡB	半期					●		1								
		韓国・朝鮮語ⅡB	半期					●		1								
		ドイツ語コミュニケーションB	半期					●		1								
		フランス語コミュニケーションB	半期					●		1								
		中国語コミュニケーションB	半期					●		1								
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB	半期					●		1								
		ドイツ語ⅢA	半期							●			1					
		フランス語ⅢA	半期							●			1					
		中国語ⅢA	半期							●			1					
		韓国・朝鮮語ⅢA	半期							●			1					
	ドイツ語ⅢB	半期								●			1					
	フランス語ⅢB	半期								●			1					
中国語ⅢB	半期								●			1						
韓国・朝鮮語ⅢB	半期								●			1						
第3類	ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修後に1年後期開講の「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」は進級・卒業単位に含まれない。			
	英語コミュニケーション	半期	○	○	2								◆必		週2回開講			
	英語ⅢA	半期							●			1						
	英語ⅢB	半期								●		1						
保健体育科目	スポーツ実技A	半期	○	○	1									◆				
	スポーツ実技B	半期	○	○	1									◆				
	体育講義	半期	○	○	2									◆				
留学科目	海外研究A	通年						4							4単位まで卒業単位に算入			
	海外研究B	半期			2													
	海外研究C	半期			1													
外国人及び帰国生科目	日本語ⅠA	半期	●		1													
	日本語ⅠB	半期		●	1													
	日本語ⅡA	半期				●		1										
	日本語ⅡB	半期					●	1										

※開講学年前期後期欄

●－原則としてその学期で開講。
 ○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開講学年												資格	必修	備 考
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
◎印－必修科目 } ○印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）																	
学部共通専門科目	ベーシック数学	半期	●		2												「ベーシック数学」「ベーシック物理学」は進級・卒業単位に含まない。
	ベーシック物理学	半期	●		2												
	物理学Ⅰ	半期		●	2											◎	
	物理学Ⅱ	半期				●		2								◎	
	化学	半期	●		2												
	微分積分学Ⅰ	半期	●		2											◎	
	微分積分学Ⅱ	半期		●	2											◎	
	線形代数学	半期	●		2											◎	
	微分方程式	半期				●		2									
	確率統計学	半期					●	2									
	自然科学実験ファンダメンタルズ	半期	●		2												
	AI活用の基礎	半期										●		2			
	データサイエンス活用の基礎	半期										●		2			
	情報セキュリティ技術の基礎	半期										●		2			
	技術者倫理	半期									2						
	知的所有権	半期									2						
	フレッシュパーソンセミナー	半期	●		2											◎	
	ジュニアセミナー	半期								●	2						◎
	卒業研究Ⅰ	半期											●		3		◎
	卒業研究Ⅱ	半期											●		3		◎
学外見学	半期								●	1							
インターンシップ	半期								●	1							
学科専門科目	基礎科目	電磁気学Ⅰ	半期				●		2								◎
		電磁気学演習Ⅰ	半期				●		1								◎
		電磁気学Ⅱ	半期					●	2								◎
		電磁気学演習Ⅱ	半期					●	1								
		電気回路学Ⅰ	半期				●		2								◎
		電気回路学演習Ⅰ	半期				●		1								◎
		電気回路学Ⅱ	半期					●	2								◎
		電気回路学演習Ⅱ	半期					●	1								
		電気電子基礎工学	半期		●	2									◆必		◎
		プログラミング基礎	半期		●	2											◎
		オブジェクト指向プログラミング	半期					●	2						◆		
		アナログ電子回路学	半期							●		2					
		デジタル電子回路学	半期								●	2					
		電気・電子基礎計測	半期				●		2						◆		
		電気・電子工学セミナー	半期							●		1					◎
		エンジニアリング英語	半期							●		2					
		電気・電子工学実験Ⅰ	半期				●		2								◎
		電気・電子工学実験Ⅱ	半期					●	2								◎
	電気・電子工学実験Ⅲ	半期							●		2					◎	
	電気・電子工学実験Ⅳ	半期								●	2					◎	
基盤科目	第1類	応用数学	半期				●		2								「第1類」から6単位以上修得すること。
		通信システム概論	半期									●		2	◆		
		電磁波工学	半期							●		2					
		電波法	半期								●	2					
		電気法規及び施設管理	半期									●		2	◆		
		電気機械設計製図	半期								●	2			◆		
	第2類	制御工学	半期							●	2						「第2類」から6単位以上修得すること。
		システム工学	半期									●		2			
		ハードウェア工学	半期					●	2						◆		
		ソフトウェア工学	半期							●		2			◆		
		電子物性工学	半期					●	2								
		電子機械工学	半期									●		2	◆		

※開講学年前期後期欄

●－原則としてその学期で開講。
 ○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開講学年												資格 必修		備 考
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
			◎印－必修科目 } ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）														
教育職員免許状の教科に関する科目	工業技術概論	半期											●		2	◆必	
	工学系の職業指導	半期											●		2	◆必	
	電気電子系の職業指導	半期												●	2	◆必	
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2											◆必	
	教育基礎論	半期	●		2											◆必	
	教育の制度と経営	半期		●	2											◆必	
	教育心理学	半期						2								◆必	
	教育課程論	半期				●		2								◆必	
	ICT活用の理論と方法	半期									2					◆必	
	教育の方法と技術	半期						2								◆必	
	教育相談の理論と方法	半期						2								◆必	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2								◆必	
	工業科教育法（概論・理論）	半期							●		2					◆必	
	工業科教育法（実践・応用）	半期								●	2					◆必	
	特別支援教育論	半期									2					◆必	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2					◆必	
	教育実習Ⅰ	通年													3	◆必	
	教職実践演習（中・高）	半期											●	2	◆必		

◆卒業要件（卒業に必要な最低修得単位数）

区 分			単位数		
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	34	
		知的基礎	6		
		課題探究	6		
	共通教養科目	人文系	4		
		社会系	4		
		自然系	4		
外国語科目	第 1 類		4		
学部共通専門科目			20		
学科専門科目	基礎科目		28	52	
	基盤科目	第 1 類	6		12
		第 2 類	6		
	応用科目	電力・制御系	4		12
		情報・通信系	4		
		電子・材料系	4		
上記以外の選択科目	学科専門科目		14		
	教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、留学科目（4 単位まで）、学部共通専門科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 （合計8単位まで）				
合 計			124		

◆進級要件（4年次進級に必要な最低修得単位数）

区 分	単位数
教養教育科目	30
外国語科目 第1類	
学部共通専門科目 （ジュニアセミナーを含むこと）	14
学科専門科目 （以下の必修科目を含むこと） 1 電気・電子工学実験Ⅰ 2 電気・電子工学実験Ⅱ 3 電気・電子工学実験Ⅲ 4 電気・電子工学実験Ⅳ	50
進級単位	94

〈カリキュラムマップの見方〉

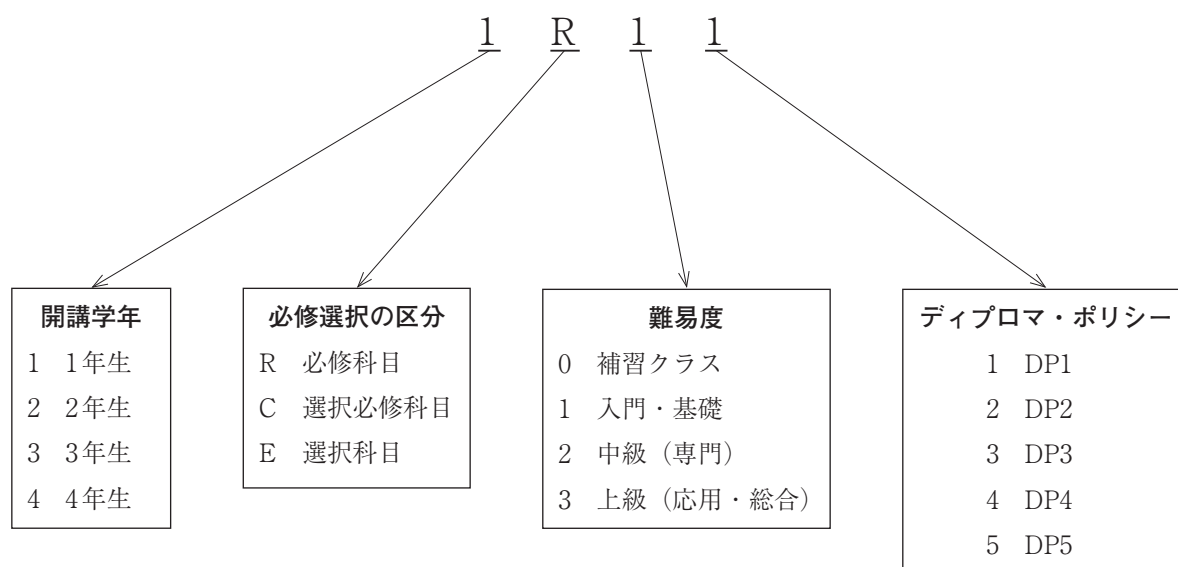
カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針（DP）がどれかを示しています。



(1) 工学部 電気電子工学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる (現代をよく 生きる)	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる (汎 用的技能・能力)	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる (課題発見・ 解決)	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる (多面的 認識、思考)	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる (専門分野 の学修)
1R11	聖書を学ぶ	◎				
1R11	キリスト教の歴史と思想	◎				
3C21	キリスト教学 A (キリスト教と倫理)	◎				
3C21	キリスト教学 B (キリスト教と宗教)	◎				
3C21	キリスト教学 C (キリスト教と文化)	◎				
3C21	キリスト教学 D (キリスト教と現代社会)	◎				
2C11	共生社会と倫理	◎			○	
2C11	科学技術社会と倫理	◎			○	
1C11	よき社会生活のために A (法律)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために B (福祉)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために C (健康)	◎			○	
1C12	リーディング&ライティング		◎			
1C12	クリティカル・シンキング		◎			
1R12	情報リテラシー		◎		○	
1C12	統計的思考の基礎		◎		○	
1C12	科学的思考の基礎		◎		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		◎		
3C13	東北学院史の探究	○		◎		
2C23	データ活用による探究		○	◎		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		◎		
2C23	地域課題の探究		○	◎	○	
1C23	課題探究演習		○	◎		
1C14	哲学				◎	
1C14	芸術論	○			◎	
1C14	文化の歴史				◎	
1C14	音楽	○			◎	
1C14	倫理学				◎	
1C14	文学				◎	
1C14	歴史学	○			◎	
1C14	文化人類学	○			◎	
1C14	言語論				◎	
1C14	心理学				◎	
1C14	社会学				◎	
1C14	経営学				◎	
1C14	経済学				◎	
1C14	法学				◎	
1C14	日本国憲法	○			◎	
1C14	現代の政治	○			◎	
1C14	地理学				◎	
1C14	社会福祉論				◎	
1C14	ジェンダー論				◎	
1C14	東北地域論				◎	
1C14	数理の科学				◎	
1C14	記号論理学		○		◎	
1C14	生命の科学				◎	
1C14	環境の科学				◎	
1C14	自然の科学				◎	
1C14	先端科学と技術				◎	
1C14	AI 社会の基礎		○		◎	
1R12	英語 I A		◎		○	
1R12	英語 I B		◎		○	
2R22	英語 II A		◎		○	
2R22	英語 II B		◎		○	
1E12	ドイツ語 I A		◎		○	
1E12	フランス語 I A		◎		○	
1E12	中国語 I A		◎		○	
1E12	韓国・朝鮮語 I A		◎		○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
1E12	ドイツ語Ⅰ B		○		○	
1E12	フランス語Ⅰ B		○		○	
1E12	中国語Ⅰ B		○		○	
1E12	韓国・朝鮮語Ⅰ B		○		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ A		○		○	
2E22	フランス語Ⅱ A		○		○	
2E22	中国語Ⅱ A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ A		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション A		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション A		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション A		○		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ B		○		○	
2E22	フランス語Ⅱ B		○		○	
2E22	中国語Ⅱ B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ B		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション B		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション B		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション B		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ A		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ A		○		○	
3E32	中国語Ⅲ A		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ A		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ B		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ B		○		○	
3E32	中国語Ⅲ B		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ B		○		○	
1E02	ベーシック英語		○		○	
1E12	英語コミュニケーション		○		○	
3E32	英語Ⅲ A		○		○	
3E32	英語Ⅲ B		○		○	
1E11	スポーツ実技 A	○				
1E11	スポーツ実技 B	○				
1E12	体育講義		○			
2E32	海外研究 A		○		○	
1E22	海外研究 B		○		○	
1E12	海外研究 C		○		○	
1E12	日本語Ⅰ A		○			
1E12	日本語Ⅰ B		○			
2E12	日本語Ⅱ A		○			
2E12	日本語Ⅱ B		○			
1E05	基礎数学（ベーシック数学）			○		○
1E05	基礎物理（ベーシック物理学）			○		○
1R12	物理学Ⅰ		○		○	
2E12	物理学Ⅱ		○		○	
1E15	化学			○		○
1R12	微分積分学Ⅰ		○		○	
1R12	微分積分学Ⅱ		○		○	
1R12	線形代数学		○		○	
2E12	微分方程式		○		○	
2E12	確率統計学		○		○	
1R12	自然科学実験ファンダメンタルズ		○		○	
4E32	AI 活用の基礎		○		○	
4E32	データサイエンス活用の基礎		○		○	
4E32	情報セキュリティ技術の基礎		○		○	
4E24	技術者倫理			○	○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
4E24	知的所有権			○	◎	
1R15	フレッシュパーソンセミナー			○		◎
3R23	ジュニアセミナー			◎		○
4R33	卒業研究Ⅰ			◎		○
4R33	卒業研究Ⅱ			◎		○
3E35	学外見学				○	◎
3E33	インターンシップ			◎		○
2R25	電磁気学Ⅰ		○			◎
2R25	電磁気学演習Ⅰ		○			◎
2R25	電磁気学Ⅱ		○			◎
2E25	電磁気学演習Ⅱ		○			◎
2R25	電気回路学Ⅰ		○			◎
2R25	電気回路学演習Ⅰ		○			◎
2R25	電気回路学Ⅱ		○			◎
2E25	電気回路学演習Ⅱ		○			◎
1R15	電気電子基礎工学		○			◎
1R15	プログラミング基礎		○			◎
2E25	オブジェクト指向プログラミング		○			◎
3E25	アナログ電子回路学		○			◎
3E25	ディジタル電子回路学		○			◎
2E25	電気・電子基礎計測		○			◎
3R25	電気・電子工学セミナー			○		◎
3E22	エンジニアリング英語		◎			○
2R25	電気・電子工学実験Ⅰ		○			◎
2R25	電気・電子工学実験Ⅱ		○			◎
3R25	電気・電子工学実験Ⅲ		○			◎
3R25	電気・電子工学実験Ⅳ		○			◎
2E25	応用数学		○			◎
4E25	通信システム概論		○			◎
3E25	電磁波工学		○			◎
3E25	電波法		○			◎
4E25	電気法規及び施設管理		○			◎
3E25	電気機械設計製図		○			◎
3E25	制御工学		○			◎
4E25	システム工学		○			◎
2E25	ハードウェア工学		○			◎
3E25	ソフトウェア工学		○			◎
2E25	電子物性工学		○			◎
4E25	電子機械工学		○			◎
3E35	電磁エネルギー変換工学		○			◎
3E35	パワーエレクトロニクス		○			◎
3E35	高電圧工学		○			◎
3E35	電力発生工学		○			◎
3E35	電力系統工学		○			◎
4E35	電力応用工学		○			◎
3E35	情報通信工学		○			◎
3E35	音響通信工学		○			◎
3E35	画像処理工学		○			◎
3E35	環境電磁工学概論		○			◎
4E35	ネットワークプログラミング		○			◎
3E35	ディジタル信号処理		○			◎
3E35	固体物性工学		○			◎
3E35	電気電子材料工学		○			◎
3E35	ナノテクノロジー工学		○			◎
3E35	電子デバイス工学		○			◎
4E35	集積デバイス工学		○			◎
3E35	化学材料工学		○			◎

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
1E12	特別講義		◎		○	
4E25	工業技術概論					◎
4E25	工学系の職業指導					◎
4E25	電気電子系の職業指導					◎
1E14	現代教職論				◎	
1E14	教育基礎論				◎	
1E14	教育の制度と経営				◎	
2E24	教育心理学				◎	
2E24	教育課程論				◎	
3E34	ICT 活用の理論と方法				◎	
2E24	教育の方法と技術				◎	
2E24	教育相談の理論と方法				◎	
2E24	生徒指導・進路指導の理論と方法				◎	
3E35	工業科教育法（概論・理論）					◎
3E35	工業科教育法（実践・応用）					◎
3E34	特別支援教育論				◎	
3E34	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法				◎	
4E33	教育実習Ⅰ			◎		
4E33	教職実践演習（中・高）			◎		

(2) 工学部 電気電子工学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		電気電子工学の基礎となる数学や自然科学及び電気電子分野の専門基礎知識に基づき、個々の専門分野に固有の認識や思考方法について、それらの概要を説明することができる。(専門的認識・思考)	電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系の専門分野の基礎知識を活用して自主的な学修を進めるとともに、卒業研究では研究成果をとりまとめ、その概要を説明することができる。(専門的技能)	社会が要求する問題を解決するために、科学技術に関する情報を自ら積極的に入手し、課題に関する分析や解決策について工学的見地から意見を述べるができる。(科学的分析・解決)
1E05	基礎数学 (ベーシック数学)	○		
1E05	基礎物理 (ベーシック物理学)	○		
1R12	物理学 I	○		
2E12	物理学 II	○		
1E15	化学	○		
1R12	微分積分学 I	○		
1R12	微分積分学 II	○		
1R12	線形代数学	○		
2E12	微分方程式	○		○
2E12	確率統計学	○		○
1R12	自然科学実験ファンダメンタルズ	○		
4E32	AI 活用の基礎	○		○
4E32	データサイエンス活用の基礎	○		○
4E32	情報セキュリティ技術の基礎	○		○
4E24	技術者倫理			○
4E24	知的所有権			○
1R15	フレッシュパーソンセミナー	○		
3R23	ジュニアセミナー		○	
4R33	卒業研究 I		○	
4R33	卒業研究 II		○	
3E35	学外見学			○
3E33	インターンシップ			○
2R25	電磁気学 I	○		
2R25	電磁気学演習 I	○		
2R25	電磁気学 II	○		
2E25	電磁気学演習 II	○		
2R25	電気回路学 I	○		
2R25	電気回路学演習 I	○		
2R25	電気回路学 II	○		
2E25	電気回路学演習 II	○		
1R15	電気電子基礎工学	○		
1R15	プログラミング基礎	○		○
2E25	オブジェクト指向プログラミング	○		○
3E25	アナログ電子回路学	○		
3E25	デジタル電子回路学	○		
2E25	電気・電子基礎計測	○		
3R25	電気・電子工学セミナー		○	
3E22	エンジニアリング英語	○		
2R25	電気・電子工学実験 I		○	
2R25	電気・電子工学実験 II		○	
3R25	電気・電子工学実験 III		○	
3R25	電気・電子工学実験 IV		○	
2E25	応用数学	○		
4E25	通信システム概論	○		
3E25	電磁波工学	○		
3E25	電波法	○		○
4E25	電気法規及び施設管理	○		○
3E25	電気機械設計製図	○		
3E25	制御工学	○		
4E25	システム工学	○		
2E25	ハードウェア工学	○		
3E25	ソフトウェア工学	○		
2E25	電子物性工学	○		
4E25	電子機械工学	○		

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		電気電子工学の基礎となる数学や自然科学及び電気電子分野の専門基礎知識に基づき、個々の専門分野に固有の認識や思考方法について、それらの概要を説明することができる。 (専門的認識・思考)	電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系の専門分野の基礎知識を活用して自主的な学修を進めるとともに、卒業研究では研究成果をとりまとめ、その概要を説明することができる。 (専門的技能)	社会が要求する問題を解決するために、科学技術に関する情報を自ら積極的に入手し、課題に関する分析や解決策について工学的見地から意見を述べるができる。(科学的分析・解決)
3E35	電磁エネルギー変換工学		◎	○
3E35	パワーエレクトロニクス		◎	○
3E35	高電圧工学		◎	○
3E35	電力発生工学		◎	○
3E35	電力系統工学		◎	○
4E35	電力応用工学		◎	○
3E35	情報通信工学		◎	○
3E35	音響通信工学		◎	○
3E35	画像処理工学		◎	○
3E35	環境電磁工学概論		◎	○
4E35	ネットワークプログラミング		◎	○
3E35	デジタル信号処理		◎	○
3E35	固体物性工学		◎	○
3E35	電気電子材料工学		◎	○
3E35	ナノテクノロジー工学		◎	○
3E35	電子デバイス工学		◎	○
4E35	集積デバイス工学		◎	○
3E35	化学材料工学		◎	○
1E12	特別講義			◎

※開講学年前期後期欄 { ○○一前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄一開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年									資格、必修		備 考				
			1 年			2 年			3 年			4 年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期		単位			
			} ◎印－必修科目 } ◎印－選択必修科目 } ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）															
学 部 共 通 専 門 科 目	物理学Ⅰ	半期		●	2											◎	「学部共通専門科目」から28単位以上修得すること。 卒業研究Ⅱは卒業試験を含む	
	物理学Ⅱ	半期				●		2								◎		
	微分積分学Ⅰ	半期	●		2											◎		
	微分積分学Ⅱ	半期		●	2											◎		
	線形代数学	半期	●		2											◎		
	自然科学実験ファンダメンタルズ	半期	●		2													
	微分方程式	半期				●		2										
	フーリエ解析	半期					●	2										
	確率統計学	半期					●	2										
	プログラミング基礎	半期		●	2											◎		
	プログラミング応用	半期					●	2						◆				
	工業英語	半期							●		2							
	工学総合演習Ⅰ	半期					●	1								◎		
	工学総合演習Ⅱ	半期							●		1					◎		
	ジュニアセミナー	半期								●	2					◎		
	卒業研究Ⅰ	半期										●		3		◎		
	卒業研究Ⅱ	半期										●		3		◎		
	学外見学	半期							●		1							
インターンシップ	半期								●	1								
キャリア・デザイン	半期							●		2								
海外研究Ⅰ	半期					●		2										
海外研究Ⅱ	半期						●	2										
基 礎 科 目	電磁気学Ⅰ	半期				●		2								◎	「基礎科目」から26単位以上修得すること。	
	電磁気学演習Ⅰ	半期				●		1								◎		
	電磁気学Ⅱ	半期					●	2								◎		
	電磁気学演習Ⅱ	半期					●	1										
	電気回路学Ⅰ	半期				●		2								◎		
	電気回路学演習Ⅰ	半期				●		1								◎		
	電気回路学Ⅱ	半期					●	2								◎		
	電気回路学演習Ⅱ	半期					●	1										
	電力・制御基礎工学	半期		●	2									◆必修	◎			
	情報・通信基礎工学	半期		●	2									◆必修	◎			
	電子・材料基礎工学	半期		●	2									◆必修	◎			
	アナログ電子回路学	半期							●		2							
	デジタル電子回路学	半期								●	2							
	電気・電子基礎計測	半期				●		2						◆				
	電気・電子工学実験Ⅰ	半期				●		2								◎		
	電気・電子工学実験Ⅱ	半期					●	2								◎		
	電気・電子工学実験Ⅲ	半期							●		2					◎		
	電気・電子工学実験Ⅳ	半期								●	2					◎		
学 科 専 門 科 目	第1類	ベクトル解析	半期				●		2								「基盤科目」から8単位以上を修得すること。ただし第2類から4単位以上修得すること。	
		電波法	半期									●		1				
		通信システム概論	半期									●		2		◆		
		電気法規及び施設管理	半期									●		2		◆		
		電気機械設計製図	半期									●		2		◆		
	第2類	制御工学	半期							●		2						
		システム工学	半期								●	2						
		ハードウェア工学	半期					●	2						◆			
		ソフトウェア工学	半期							●		2			◆			
		電子物性工学	半期					●	2									
	電子機械工学	半期								●	2				◆			
	応 用 科 目	電力・制御系	電磁エネルギー変換工学	半期							●		2				◆	「応用科目」から10単位以上を修得すること。
			パワーエレクトロニクス	半期							●		2					
			高電圧工学	半期							●		2					
			電力発生工学	半期							●		2			◆		
			電力系統工学	半期								●	2			◆		
		電力応用工学	半期										●		2			
		情報・通信系	情報通信工学	半期							●		2					
電磁波工学			半期								●	2						
音響通信工学			半期								●	2						
画像処理工学			半期							●		2						
ネットワークプログラミング			半期									●		2				
デジタル信号処理		半期								●		2						
電子・材料系		固体物性工学	半期							●		2						
	電気電子材料工学	半期							●		2			◆				
	ナノテクノロジー工学	半期								●	2							
	電子デバイス工学	半期								●	2			◆				
	集積デバイス工学	半期									●		2	◆				
化学材料工学	半期								●	2								
特別講義	半期		●	2														

※開講学年前期後期欄 { ○○ー前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年									資 格		備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期		単位
			} ◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）												
教育職員免許 状の教科に関 する科目	工業技術概論	半期									●		2	◆必修	
	工学系の職業指導	半期									●		2	◆必修	
	電気電子系の職業指導	半期										●	2	◆必修	
教 職 等 に 関 する 科 目	現代教職論	半期			2									◆必修	
	教育基礎論	半期	●		2									◆必修	
	教育の制度と経営	半期		●	2									◆必修	
	教育心理学	半期						2						◆必修	
	教育課程論	半期				●		2						◆必修	
	教育の方法と技術	半期						2						◆必修	
	教育相談の理論と方法	半期						2						◆必修	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2						◆必修	
	工業科教育法（概論・理論）	半期							●		2			◆必修	
	工業科教育法（実践・応用）	半期								●	2			◆必修	
	特別支援教育論	半期									2			◆必修	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2			◆必修	
	教育実習Ⅰ	通年											3	◆必修	
	教職実践演習（中・高）	半期										●	2	◆必修	

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎		10	38
		知的基礎		10	
	学科教養科目	人文社会		10	
		自然科学		8	
地域教育科目				2	
外国語科目		第 1 類（必修）		4	
学部共通専門科目				28	
学科専門科目	基礎科目			26	52
	基盤科目	第 1 類		8	
		第 2 類	4		
	応用科目			10	
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第 1 類～第 2 類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計 8 単位まで)					
卒業単位					124

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと) 1 電気・電子工学実験Ⅰ 2 電気・電子工学実験Ⅱ 3 電気・電子工学実験Ⅲ 4 電気・電子工学実験Ⅳ	38
進級単位	100

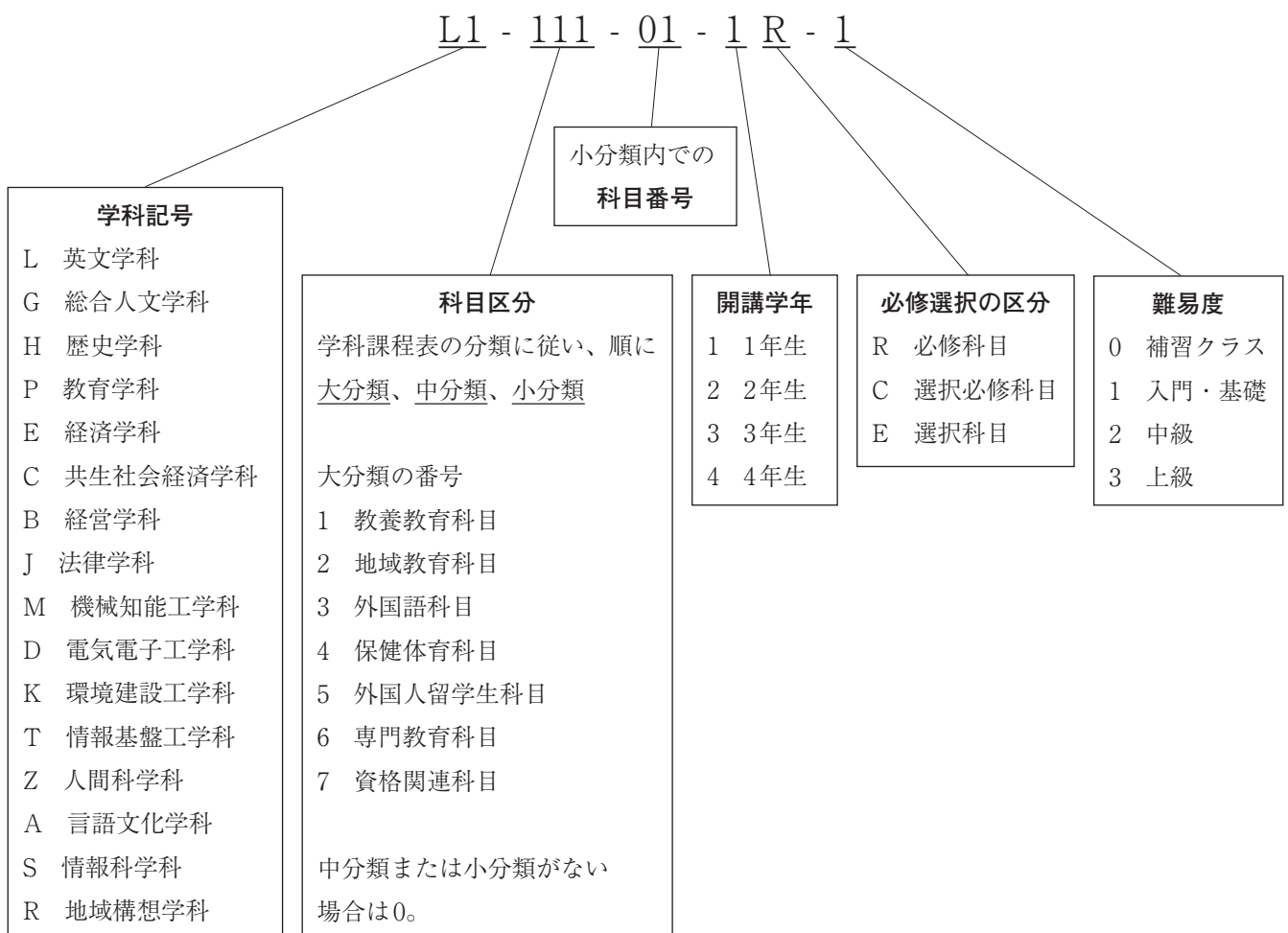
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
D0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
D0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
D0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
D0-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
D0-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
D0-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
D0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
D0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎		
D0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎		
D0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
D0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
D0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
D0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
D0-112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
D0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
D0-112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
D0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
D0-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎			
D0-121-01-2E-1	哲学			◎		○
D0-121-02-1E-1	芸術論			◎		○
D0-121-03-2E-1	歴史学			◎		○
D0-121-04-2E-1	心理学			◎		○
D0-121-05-2E-1	社会学			◎		○
D0-121-06-2E-1	経済学			◎		○
D0-121-07-2E-1	経営学			◎		○
D0-121-08-2E-1	法学			◎		○
D0-121-09-1E-1	日本国憲法			◎		○
D0-121-10-2E-1	東北地域論			◎		○
D0-121-11-3E-1	東北学院の歴史	○		◎		
D0-122-01-2E-1	健康の科学			◎		○
D0-122-02-1E-1	生命の科学			◎		○
D0-122-03-1R-1	情報リテラシー			◎		○
D0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー				◎	○
D0-122-05-1E-1	基礎数学演習				◎	○
D0-122-06-1E-1	基礎物理演習				◎	○
D0-122-07-1E-1	基礎化学演習				◎	○
D0-122-08-1E-1	技術者倫理			◎		○
D0-122-09-3E-1	知的所有権			◎		○
D0-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
D0-200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ					◎
D0-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					◎
D0-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
D0-310-01-1R-1	英語ⅠA		◎	○		
D0-310-02-1R-1	英語ⅠB		◎	○		
D0-310-03-2R-2	英語ⅡA		◎	○		
D0-310-04-2R-2	英語ⅡB		◎	○		
D0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○		
D0-320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○		
D0-320-02-1E-1	フランス語		◎	○		
D0-320-03-1E-1	中国語		◎	○		
D0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○		
D0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
D0-330-02-3E-3	英語Ⅲ		◎	○		
D0-400-01-1E-1	体育講義			◎		
D0-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
D0-510-01-1E-1	日本事情A		◎	○		
D0-510-02-1E-1	日本事情B		◎	○		
D0-510-03-1E-1	日本事情C		◎	○		
D0-520-01-1E-1	日本語ⅠA		◎	○		
D0-520-02-2E-2	日本語ⅠB		◎	○		
D0-520-03-1E-1	日本語ⅡA		◎	○		
D0-520-04-2E-2	日本語ⅡB		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-610-01-1R-1	物理学Ⅰ		◎	○		
D0-610-02-2E-2	物理学Ⅱ		◎	○		
D0-610-03-1R-1	微分積分学Ⅰ		◎	○		
D0-610-04-1R-2	微分積分学Ⅱ		◎	○		
D0-610-05-1R-1	線形代数学		◎	○		
D0-610-06-1E-1	自然科学実験ファンダメンタルズ		◎	○		
D0-610-07-2E-2	微分方程式		◎	○		
D0-610-08-2E-2	フーリエ解析		◎	○		
D0-610-09-2E-2	確率統計学		◎	○		
D0-610-10-1R-1	プログラミング基礎		○		◎	
D0-610-11-2E-2	プログラミング応用		○		◎	
D0-610-12-3E-2	工業英語		◎		○	
D0-610-13-2R-2	工学総合演習Ⅰ				○	◎
D0-610-14-3R-2	工学総合演習Ⅱ				○	◎
D0-610-15-3R-2	ジュニアセミナー				○	◎
D0-610-16-4R-1	卒業研究Ⅰ				○	◎
D0-610-17-4R-2	卒業研究Ⅱ				○	◎
D0-610-18-3E-1	学外見学			○	◎	
D0-610-19-3E-1	インターンシップ				○	◎
D0-610-20-3E-1	キャリア・デザイン				○	◎
D0-610-21-2E-2	海外研究Ⅰ			○		◎
D0-610-22-2E-2	海外研究Ⅱ			○		◎
D0-620-01-2R-2	電磁気学Ⅰ		○		◎	
D0-620-02-2R-2	電磁気学演習Ⅰ		○		◎	
D0-620-03-2R-2	電磁気学Ⅱ		○		◎	
D0-620-04-2E-2	電磁気学演習Ⅱ		○		◎	
D0-620-05-2R-2	電気回路学Ⅰ		○		◎	
D0-620-06-2R-2	電気回路学演習Ⅰ		○		◎	
D0-620-07-2R-2	電気回路学Ⅱ		○		◎	
D0-620-08-2E-2	電気回路学演習Ⅱ		○		◎	
D0-620-09-1R-1	電力・制御基礎工学		○		◎	
D0-620-10-1R-1	情報・通信基礎工学		○		◎	
D0-620-11-1R-1	電子・材料基礎工学		○		◎	
D0-620-12-3E-2	アナログ電子回路学		○		◎	
D0-620-13-3E-2	ディジタル電子回路学		○		◎	
D0-620-14-2E-2	電気・電子基礎計測		○		◎	
D0-620-15-2R-1	電気・電子工学実験Ⅰ		○		◎	
D0-620-16-2R-1	電気・電子工学実験Ⅱ		○		◎	
D0-620-17-3R-2	電気・電子工学実験Ⅲ		○		◎	
D0-620-18-3R-2	電気・電子工学実験Ⅳ		○		◎	
D0-631-01-2E-2	ベクトル解析		○		◎	
D0-631-02-4E-2	電波法		○		◎	
D0-631-03-4E-2	通信システム概論		○		◎	
D0-631-04-4E-2	電気法規及び施設管理		○		◎	
D0-631-05-4E-2	電気機械設計製図		○		◎	
D0-632-01-3E-2	制御工学		○		◎	
D0-632-02-3E-2	システム工学		○		◎	
D0-632-03-2E-2	ハードウェア工学		○		◎	
D0-632-04-3E-2	ソフトウェア工学		○		◎	
D0-632-05-2E-2	電子物性工学		○		◎	
D0-632-06-3E-2	電子機械工学		○		◎	
D0-641-01-3E-3	電磁エネルギー変換工学		○		◎	
D0-641-02-3E-3	パワーエレクトロニクス		○		◎	
D0-641-03-3E-3	高電圧工学		○		◎	
D0-641-04-3E-3	電力発生工学		○		◎	
D0-641-05-3E-3	電力系統工学		○		◎	
D0-641-06-4E-3	電力応用工学		○		◎	
D0-642-01-3E-3	情報通信工学		○		◎	
D0-642-02-3E-3	電磁波工学		○		◎	
D0-642-03-3E-3	音響通信工学		○		◎	
D0-642-04-3E-3	画像処理工学		○		◎	
D0-642-05-4E-3	ネットワークプログラミング		○		◎	
D0-642-06-3E-3	ディジタル信号処理		○		◎	
D0-643-01-3E-3	固体物性工学		○		◎	
D0-643-02-3E-3	電気電子材料工学		○		◎	
D0-643-03-3E-3	ナノテクノロジー工学		○		◎	
D0-643-04-3E-3	電子デバイス工学		○		◎	
D0-643-05-4E-3	集積デバイス工学		○		◎	
D0-643-06-3E-3	化学材料工学		○		◎	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
D0-650-01-1E-1	特別講義		◎	○		
D0-701-01-4R-2	工業技術概論			○	◎	
D0-701-02-4R-2	工学系の職業指導			○	◎	
D0-701-03-4R-2	電気電子系の職業指導			○	◎	
D0-702-01-1R-1	現代教職論			◎		
D0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎		
D0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			◎		
D0-702-04-2R-2	教育心理学			◎		
D0-702-05-2R-2	教育課程論			◎		
D0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			◎		
D0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			◎		
D0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎		
D0-702-09-3R-3	工業科教育法（概論・理論）			○	◎	
D0-702-10-3R-3	工業科教育法（実践・応用）			○	◎	
D0-702-11-3R-3	特別支援教育論			○	◎	
D0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎	
D0-702-13-4R-3	教育実習Ⅰ				○	◎
D0-702-14-4R-3	教職実践演習（中・高）			○		◎

電気電子工学科課程表（2019 年度入学者より適用）

※開講学年前期後期欄 { ○○ー前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分			科 目 名	開講期	開 講 学 年												資格		必修	備 考
					1 年			2 年			3 年			4 年						
					前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	} ◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）			
教 養 教 育 科 目	T G ベーシック	人間的基礎	聖書を学ぶ	半期	●		2									◎		◇電気電子工学科を卒業し、学士号を得るためには124単位以上を修得しなければならない。		
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2								◎					
			キリスト教A（キリスト教と倫理）	半期						●	2				} ◎	4科目のうち1科目2単位を必修とする。計4単位まで卒業単位に算入することができる。				
			キリスト教B（キリスト教と宗教）	半期						●	2									
			キリスト教C（キリスト教と文化）	半期						●	2									
			キリスト教D（キリスト教と現代社会）	半期						●	2									
			市民社会を生きる	半期		●	2													
		地球社会を生きる	半期	●		2										「人間的基礎」から10単位以上を修得すること。				
		科学技術社会を生きる	半期	●		2														
		キャリア形成と大学生活	半期	●		2														
		知的基礎	クリティカル・シンキング	半期		●	2											「知的基礎」から10単位以上を修得すること。		
			数理的思考の基礎	半期	●		2													
			統計的思考の基礎	半期	●		2													
			科学的思考の基礎	半期	●		2													
	情報化社会の基礎		半期	●		2														
	メディア・リテラシー		半期		●	2														
	読解・作文の技法		半期	●		2														
	学 科 教 養 科 目	人文社会	哲学	半期				●	2								「人文社会」から10単位以上を修得すること。			
			芸術論	半期	●		2													
			歴史学	半期				●	2											
			心理学	半期				●	2											
			社会学	半期				●	2											
			経済学	半期					●	2										
			経営学	半期					●	2										
			法学	半期					●	2										
		日本国憲法	半期	●		2								◆必修						
		東北地域論	半期					●	2											
		自然科学	健康の科学	半期					●	2										
生命の科学			半期		●	2														
情報リテラシー			半期	●		2								◆必修	◎					
フレッシュパーソンセミナー			半期	●		1									◎					
基礎数学演習	半期		●		1															
基礎物理演習	半期			●	1															
地域教育科目	震災と復興	半期	●		2										「地域教育科目」から2単位以上を修得すること。					
	地域の課題Ⅰ	半期				●	2							◎						
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2												
	地域課題演習	通年								4										
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1									◎	「第1類」から必修4単位以上を修得すること。				
		英語ⅠB	半期		●	1									◎					
		英語ⅡA	半期				●	1							◎					
		英語ⅡB	半期					●	1						◎					
		英語コミュニケーションズ	半期					●	2					◆必修						
	第2類	ドイツ語	半期	●		2										週2回開講				
		フランス語	半期		●	2										週2回開講				
		中国語	半期	●		2										週2回開講				
		韓国・朝鮮語	半期		●	2										週2回開講				
	第3類	ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。				
		英語Ⅲ	半期						●	1										
	保健体育科目			体育講義	半期		●	2												
			スポーツ実技	通年	●	●	2							◆必修						
外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期			2										外国人留学生は、次により10単位までを外国人留学生科目の単位で代えることができる 日本事情Aは、教養教育科目学科教養科目の人文社会2単位 日本事情Bは、教養教育科目学科教養科目の自然科学2単位 日本事情Cは、保健体育科目の「体育講義」2単位 日本語ⅠAは「英語ⅠA」1単位、日本語ⅠBは「英語ⅠB」1単位 日本語ⅡAは「英語ⅡA」1単位、日本語ⅡBは「英語ⅡB」1単位				
		日本事情B	半期			2														
		日本事情C	半期			2														
	第2類	日本語ⅠA	半期	●		1														
		日本語ⅠB	半期		●	1														
		日本語ⅡA	半期				●	1												
		日本語ⅡB	半期					●	1											

※開講学年前期後期欄 { ○○－前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年												資格		必修	備 考			
			1 年			2 年			3 年			4 年									
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位							
																	○印－必修科目 ○印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）				
学 部 共 通 専 門 科 目	物理学Ⅰ	半期		●	2												○	「学部共通専門科目」から28単位以上修得すること。 卒業研究Ⅱは卒業試験を含む			
	物理学Ⅱ	半期				●		2									○				
	微分積分学Ⅰ	半期	●		2												○				
	微分積分学Ⅱ	半期		●	2												○				
	線形代数学	半期	●		2												○				
	自然科学実験ファンダメンタルズ	半期	●		2																
	微分方程式	半期				●		2													
	フーリエ解析	半期					●	2													
	確率統計学	半期					●	2													
	プログラミング基礎	半期		●	2												○				
	プログラミング応用	半期					●	2						◆							
	工業英語	半期							●		2										
	工学総合演習Ⅰ	半期					●	1									○				
	工学総合演習Ⅱ	半期							●		1						○				
	ジュニアセミナー	半期								●	2						○				
	卒業研究Ⅰ	半期										●		3			○				
	卒業研究Ⅱ	半期											●	3			○				
	学外見学	半期								●	1										
	インターンシップ	半期								●	1										
	キャリア・デザイン	半期							●		2										
海外研究Ⅰ	半期					●		2													
海外研究Ⅱ	半期						●	2													
基 礎 科 目	電磁気学Ⅰ	半期				●		2									○	「基礎科目」から26単位以上修得すること。			
	電磁気学演習Ⅰ	半期				●		1									○				
	電磁気学Ⅱ	半期					●	2									○				
	電磁気学演習Ⅱ	半期					●	1													
	電気回路学Ⅰ	半期				●		2									○				
	電気回路学演習Ⅰ	半期				●		1									○				
	電気回路学Ⅱ	半期					●	2									○				
	電気回路学演習Ⅱ	半期					●	1													
	電力・制御基礎工学	半期		●	2									◆必修			○				
	情報・通信基礎工学	半期		●	2									◆必修			○				
	電子・材料基礎工学	半期		●	2									◆必修			○				
	アナログ電子回路学	半期							●		2										
	ディジタル電子回路学	半期								●	2										
	電気・電子基礎計測	半期												◆							
	電気・電子工学実験Ⅰ	半期				●		2									○				
	電気・電子工学実験Ⅱ	半期					●	2									○				
	電気・電子工学実験Ⅲ	半期							●		2						○				
	電気・電子工学実験Ⅳ	半期								●	2						○				
	学 科 専 門 科 目	第1類	ベクトル解析	半期				●		2										「基盤科目」から8単位以上を修得すること。ただし第2類から4単位以上修得すること。	
			電波法	半期									●		1						
通信システム概論			半期										●		2		◆				
電気法規及び施設管理			半期										●		2		◆				
電気機械設計製図			半期										●		2		◆				
第2類		制御工学	半期							●		2									
		システム工学	半期								●		2				◆				
		ハードウェア工学	半期					●	2								◆				
		ソフトウェア工学	半期							●		2					◆				
		電子物性工学	半期					●	2												
電子機械工学		半期								●	2					◆					
応 用 科 目		電力・制御系	電磁エネルギー変換工学	半期							●		2					◆	「応用科目」から10単位以上を修得すること。		
			パワーエレクトロニクス	半期							●		2								
			高電圧工学	半期							●		2								
			電力発生工学	半期							●		2				◆				
			電力系統工学	半期								●	2			◆					
		電力応用工学	半期										●		2						
		情報・通信系	情報通信工学	半期							●		2								
			電磁波工学	半期								●		2							
			音響通信工学	半期								●		2							
	画像処理工学		半期								●		2								
	ネットワークプログラミング		半期										●		2						
	電子・材料系	ディジタル信号処理	半期								●		2								
		固体物性工学	半期								●		2								
		電気電子材料工学	半期								●		2				◆				
		ナノテクノロジー工学	半期									●		2							
電子デバイス工学		半期									●		2			◆					
集積デバイス工学	半期										●		2		◆						
化学材料工学	半期									●		2									
特別講義	半期		●	2																	

※開講学年前期後期欄 { ○○ー前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年									資 格		備 考		
			1 年			2 年			3 年			4 年			必修	
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期			単 位
			} ◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）													
教育職員免許 状の教科に関 する科目	工業技術概論	半期										●		2	◆必修	
	工学系の職業指導	半期										●		2	◆必修	
	電気電子系の職業指導	半期											●	2	◆必修	
教 職 等 に 関 する 科 目	現代教職論	半期			2										◆必修	
	教育基礎論	半期	●		2										◆必修	
	教育の制度と経営	半期		●	2										◆必修	
	教育心理学	半期						2							◆必修	
	教育課程論	半期				●		2							◆必修	
	教育の方法と技術	半期						2							◆必修	
	教育相談の理論と方法	半期						2							◆必修	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2							◆必修	
	工業科教育法（概論・理論）	半期							●		2				◆必修	
	工業科教育法（実践・応用）	半期								●	2				◆必修	
	特別支援教育論	半期									2				◆必修	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2				◆必修	
	教育実習Ⅰ	通年												3	◆必修	
	教職実践演習（中・高）	半期											●	2	◆必修	

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎		10	38
		知的基礎		10	
	学科教養科目	人文社会		10	
		自然科学		8	
地域教育科目				2	
外国語科目		第 1 類（必修）		4	
学部共通専門科目				28	
学科専門科目	基礎科目			26	52
	基盤科目	第 1 類		8	
		第 2 類	4		
	応用科目			10	
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第 1 類～第 2 類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計 8 単位まで)					
卒業単位					124

4 年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと) 1 電気・電子工学実験Ⅰ 2 電気・電子工学実験Ⅱ 3 電気・電子工学実験Ⅲ 4 電気・電子工学実験Ⅳ	38
進級単位	100

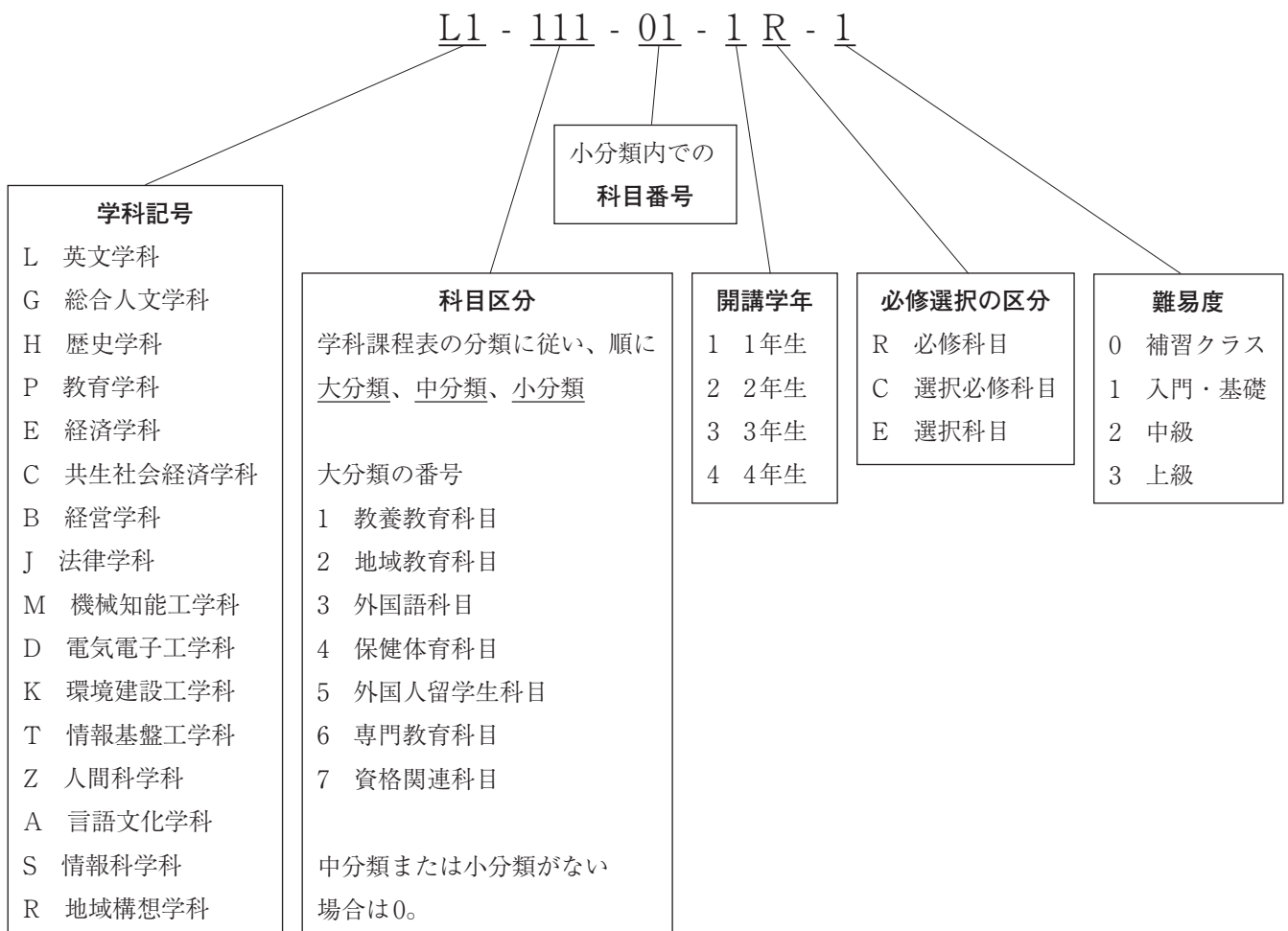
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)			
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる
D0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○	
D0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○	
D0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○	
D0-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○	
D0-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○	
D0-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○	
D0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎	
D0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎	
D0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎	
D0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎	
D0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○	
D0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎		
D0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎		
D0-112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○	
D0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○	
D0-112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎	
D0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎		
D0-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎		
D0-121-01-2E-1	哲学			◎	○
D0-121-02-1E-1	芸術論			◎	○
D0-121-03-2E-1	歴史学			◎	○
D0-121-04-2E-1	心理学			◎	○
D0-121-05-2E-1	社会学			◎	○
D0-121-06-2E-1	経済学			◎	○
D0-121-07-2E-1	経営学			◎	○
D0-121-08-2E-1	法学			◎	○
D0-121-09-1E-1	日本国憲法			◎	○
D0-121-10-2E-1	東北地域論			◎	○
D0-122-01-2E-1	健康の科学			◎	○
D0-122-02-1E-1	生命の科学			◎	○
D0-122-03-1R-1	情報リテラシー			◎	○
D0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー				◎
D0-122-05-1E-1	基礎数学演習				◎
D0-122-06-1E-1	基礎物理演習				◎
D0-122-07-1E-1	基礎化学演習				◎
D0-122-08-1E-1	技術者倫理			◎	○
D0-122-09-3E-1	知的所有権			◎	○
D0-200-01-1E-1	震災と復興			○	◎
D0-200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ				◎
D0-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ				◎
D0-200-04-3E-2	地域課題演習				◎
D0-310-01-1R-1	英語ⅠA		◎	○	
D0-310-02-1R-1	英語ⅠB		◎	○	
D0-310-03-2R-2	英語ⅡA		◎	○	
D0-310-04-2R-2	英語ⅡB		◎	○	
D0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○	
D0-320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○	
D0-320-02-1E-1	フランス語		◎	○	
D0-320-03-1E-1	中国語		◎	○	
D0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○	
D0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎		
D0-330-02-3E-3	英語Ⅲ		◎	○	
D0-400-01-1E-1	体育講義			◎	
D0-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎	
D0-510-01-1E-1	日本事情A		◎	○	
D0-510-02-1E-1	日本事情B		◎	○	
D0-510-03-1E-1	日本事情C		◎	○	
D0-520-01-1E-1	日本語ⅠA		◎	○	
D0-520-02-2E-2	日本語ⅠB		◎	○	
D0-520-03-1E-1	日本語ⅡA		◎	○	
D0-520-04-2E-2	日本語ⅡB		◎	○	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-610-01-1R-1	物理学Ⅰ		◎	○		
D0-610-02-2E-2	物理学Ⅱ		◎	○		
D0-610-03-1R-1	微分積分学Ⅰ		◎	○		
D0-610-04-1R-2	微分積分学Ⅱ		◎	○		
D0-610-05-1R-1	線形代数学		◎	○		
D0-610-06-1E-1	自然科学実験ファンダメンタルズ		◎	○		
D0-610-07-2E-2	微分方程式		◎	○		
D0-610-08-2E-2	フーリエ解析		◎	○		
D0-610-09-2E-2	確率統計学		◎	○		
D0-610-10-1R-1	プログラミング基礎		○		◎	
D0-610-11-2E-2	プログラミング応用		○		◎	
D0-610-12-3E-2	工業英語		◎		○	
D0-610-13-2R-2	工学総合演習Ⅰ				○	◎
D0-610-14-3R-2	工学総合演習Ⅱ				○	◎
D0-610-15-3R-2	ジュニアセミナー				○	◎
D0-610-16-4R-1	卒業研究Ⅰ				○	◎
D0-610-17-4R-2	卒業研究Ⅱ				○	◎
D0-610-18-3E-1	学外見学			○	◎	
D0-610-19-3E-1	インターンシップ				○	◎
D0-610-20-3E-1	キャリア・デザイン				○	◎
D0-610-21-2E-2	海外研究Ⅰ			○		◎
D0-610-22-2E-2	海外研究Ⅱ			○		◎
D0-620-01-2R-2	電磁気学Ⅰ		○		◎	
D0-620-02-2R-2	電磁気学演習Ⅰ		○		◎	
D0-620-03-2R-2	電磁気学Ⅱ		○		◎	
D0-620-04-2E-2	電磁気学演習Ⅱ		○		◎	
D0-620-05-2R-2	電気回路学Ⅰ		○		◎	
D0-620-06-2R-2	電気回路学演習Ⅰ		○		◎	
D0-620-07-2R-2	電気回路学Ⅱ		○		◎	
D0-620-08-2E-2	電気回路学演習Ⅱ		○		◎	
D0-620-09-1R-1	電力・制御基礎工学		○		◎	
D0-620-10-1R-1	情報・通信基礎工学		○		◎	
D0-620-11-1R-1	電子・材料基礎工学		○		◎	
D0-620-12-3E-2	アナログ電子回路学		○		◎	
D0-620-13-3E-2	デジタル電子回路学		○		◎	
D0-620-14-2E-2	電気・電子基礎計測		○		◎	
D0-620-15-2R-1	電気・電子工学実験Ⅰ		○		◎	
D0-620-16-2R-1	電気・電子工学実験Ⅱ		○		◎	
D0-620-17-3R-2	電気・電子工学実験Ⅲ		○		◎	
D0-620-18-3R-2	電気・電子工学実験Ⅳ		○		◎	
D0-631-01-2E-2	ベクトル解析		○		◎	
D0-631-02-4E-2	電波法		○		◎	
D0-631-03-4E-2	通信システム概論		○		◎	
D0-631-04-4E-2	電気法規及び施設管理		○		◎	
D0-631-05-4E-2	電気機械設計製図		○		◎	
D0-632-01-3E-2	制御工学		○		◎	
D0-632-02-3E-2	システム工学		○		◎	
D0-632-03-2E-2	ハードウェア工学		○		◎	
D0-632-04-3E-2	ソフトウェア工学		○		◎	
D0-632-05-2E-2	電子物性工学		○		◎	
D0-632-06-3E-2	電子機械工学		○		◎	
D0-641-01-3E-3	電磁エネルギー変換工学		○		◎	
D0-641-02-3E-3	パワーエレクトロニクス		○		◎	
D0-641-03-3E-3	高電圧工学		○		◎	
D0-641-04-3E-3	電力発生工学		○		◎	
D0-641-05-3E-3	電力系統工学		○		◎	
D0-641-06-4E-3	電力応用工学		○		◎	
D0-642-01-3E-3	情報通信工学		○		◎	
D0-642-02-3E-3	電磁波工学		○		◎	
D0-642-03-3E-3	音響通信工学		○		◎	
D0-642-04-3E-3	画像処理工学		○		◎	
D0-642-05-4E-3	ネットワークプログラミング		○		◎	
D0-642-06-3E-3	デジタル信号処理		○		◎	
D0-643-01-3E-3	固体物性工学		○		◎	
D0-643-02-3E-3	電気電子材料工学		○		◎	
D0-643-03-3E-3	ナノテクノロジー工学		○		◎	
D0-643-04-3E-3	電子デバイス工学		○		◎	
D0-643-05-4E-3	集積デバイス工学		○		◎	
D0-643-06-3E-3	化学材料工学		○		◎	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
D0-650-01-1E-1	特別講義		◎	○		
D0-701-01-4R-2	工業技術概論			○	◎	
D0-701-02-4R-2	工学系の職業指導			○	◎	
D0-701-03-4R-2	電気電子系の職業指導			○	◎	
D0-702-01-1R-1	現代教職論			◎		
D0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎		
D0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			◎		
D0-702-04-2R-2	教育心理学			◎		
D0-702-05-2R-2	教育課程論			◎		
D0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			◎		
D0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			◎		
D0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎		
D0-702-09-3R-3	工業科教育法（概論・理論）			○	◎	
D0-702-10-3R-3	工業科教育法（実践・応用）			○	◎	
D0-702-11-3R-3	特別支援教育論			○	◎	
D0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎	
D0-702-13-4R-3	教育実習 I				○	◎
D0-702-14-4R-3	教職実践演習（中・高）			○		◎